



第248回 物質循環談話会

2025年度 物質循環学ユニット 修士研究最終発表

2026年2月4日（水）9：30～ ハイブリッド開催

会場参加：理学部1番教室，オンライン参加：Google Meet

発表12分 質疑応答3分

大澤美涼	諏訪地域下諏訪温泉における地下微生物圏が駆動する物質循環の推定
奥西亮介	浅い富栄養湖における表層正味生産と湖—大気間の二酸化炭素交換の長期変動
小野ひなた	藍藻に対するセルリー由来の制御物質特定および機構解明
輿石庸行	諏訪湖における植物プランクトン増殖の制御要因の解明
諏訪竜之介	高山生態系におけるハイマツとコケモモの細根を介した栄養塩獲得機構の解明
谷 和音	長野県における地下水中ラドン濃度形成要因および飲用における被ばく線量低減法の評価
原 光平	ジュンサイハムシによるヒシ摂食が藍藻に対する抑制機構となるか
平松 翼	原発事故影響下の森林源流域における地下水流動プロセスに規定される ¹³³ Csの分布特性
藤中 暁	生分解性キレート剤が土壤中重金属の溶出挙動と微生物群集に及ぼす影響

第249回 物質循環談話会

2025年度 物質循環学コース 卒業研究最終発表

2026年2月4日（水）14：00～、2月5日（木）9：30～ ハイブリッド開催

会場参加：理学部1番教室，オンライン参加：Google Meet

発表10分 質疑応答3分

永尾弘毅	木崎湖における亜表層メタン極大現象の季節変動と形成要因の解明
江島輝昭	盆地内扇状地における地下水涵養過程の時空間変動に起因する硝酸態窒素の動態
大友瑤花	ラドンをトレーサーとした断層帯に囲まれた湖への地下水流出の解明
大野泰誠	エンケラドスで想定される生命の生育阻害要因の検証
金澤 姫	ヒノキ細根系における解剖学的形質と菌根菌感染の関係の解明
唐澤祐衣	長期保存した風乾土の酵素活性保持とその応用法の評価
北澤 丞	高島公園で繁殖するアオサギの生活史の解明

☆興味のある方はお気軽にご参加ください。

本コース4年生および大学院生はセミナーの単位（必修）となります☆

第249回 物質循環談話会



2025年度 物質循環学コース 卒業研究最終発表

2026年2月5日（木）9：30～ ハイブリッド開催

会場参加：理学部1番教室, オンライン参加：Google Meet

発表10分 質疑応答3分

- | | |
|-----------|--|
| KIM YUJIN | 酵素活性比を用いた諏訪湖底質における微生物の養分要求性評価 |
| 郡山千鶴 | 諏訪湖の水草が蓄積する窒素・リンの季節変化 |
| 小海晃博 | 諏訪湖水中マイクロプラスチックの変動要因の解明 |
| 鈴木悠花 | シイタケ(<i>Lentinula edodes</i>)における藍藻増殖抑制物質の探索 |
| 武澤美緒 | 窒素・炭素安定同位体比を用いたワカサギ杯頭条虫(<i>Proteocephalus tetrastomus</i>)の栄養位置および宿主-寄生関係の解明 |
| 田中愛歌 | 上田泥流の堆積プロセスの解明 |
| 丹後美優季 | 諏訪湖における一酸化炭素放出量の変動メカニズム |
| 鍋田佳奈 | 諏訪湖における植物プランクトン増殖に及ぼす栄養塩負荷の解明 |
| 仁科眞清 | 北アルプス爺ヶ岳における高山植物群落の植生分布と土壤環境条件の関係 |
| 廣本陽色 | 諏訪湖上のフラックス観測に対する湖面に起因しない輸送の影響 |

【昼休憩】

- | | |
|----------|---|
| 高橋 智 | 水の同位体比トレーサーによる火山・断層帯の流域間地下水流動過程の解明 |
| FU RUNQI | マンガンおよび鉄の酸化物によるフェノールオキシダーゼ活性への非生物的寄与 |
| 深澤青航 | 中部山岳地域における降水量の空間分布を特徴づける地形効果の解明 |
| 松本拓也 | 炭素・窒素安定同位体比に基づく約 300 年間の諏訪湖における一次生産量の変遷 |
| 溝江紫月 | 乗鞍岳斜面における気温通減率の変動とその要因 |
| 山口ひなの | 温泉に生息する微生物群集構造と水質の関係に着目した地下水動態の推定 |
| 山田真理奈 | 乗鞍岳高木限界における葉・枝・幹・細根の非構造的炭水化物の季節変動 |
| 吉村隆博 | ウェーブレット変換を用いた高山帯生態系における二酸化炭素交換の環境応答解析 |
| 鈴木和子 | 諏訪湖におけるヒシの水中根および地中根の根形質と滲出物による防御特性の解明 |

☆興味のある方はお気軽にご参加ください。

☆本コース4年生および大学院生はセミナーの単位（必修）となります☆